



藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。



(新しくなったくれよんの建物)

くれよんが移転しました。



(1階フロア)

令和4年7月1日より放課後等デイサービスくれよんは、生活介護ひらののすぐ隣にある建物に移転しました。新しい事業所では内装も新しくなり、大きなスペースを使って子ども達と感染予防や安全に配慮しながら元気いっぱい遊んでいます。今回は、新しい事業所について紹介していきたいと思えます。1階には社会福祉法人藍くれよんのフロアがあります。みんなで身体を動かしたり、ゆっくりカードゲームや本を読んだりして遊べる広いスペースを確保しています。トイレが2つ設置され、一つは車いす対応となっており、数が増えた事で順番待ちをする事が少くなりました。何か話が見たいことがあったり、ゆっくり

※2面に続く

過ごしたい子どもの為に静養スペースも設置しています。

2階は地域生活支援センターHIRANOくれよんのフロアとなっていて、1階と同様に子供たちが元気に過ごせるように広いスペースを確保しています。

今後よりフォームされた事業所を最大限に活用し、子供たちに楽しんでもらえるよう努力して参ります。

(2階フロア)



なつだ なつ休みだ くれよんなつ祭り～

今年もコロナ禍ではありませんが、くれよん夏祭りの季節がやってきました。パーティーションを設置し、受付やお店ごとに手指消毒をするなど感染対策をしながら子ども達がお店屋さんとお客さんに別れて参加しました。祭りの準備のお手伝いや、店番の練習も積極的に参加してくれて最初は慣れない手つきでしたが、繰り返し練習していくうちに



→ (金魚すくいの様子)



(店員役頑張ります。)

自信がついて頑張って取り組めていました。今年はお馴染みのガチャポンでのくじ引きや、千本引き、宝探しに加え、新しく手作りした輪投げと金魚すくいが追加となり、子ども達はそれぞれのゲームに試

行錯誤しながら楽しく参加していました。欲しい景品が取れた時には「やったーこれがほしかったんだ」と喜ぶ笑顔がフロアに飛び交っていました。お祭りが終わった後には職員やお友達と景品で仲良く遊んでいる様子がたくさん見られていました。

役割を終えて

くれよんの移転が完了したことで、旧事業所は役割を終えました。旧事業所は放課後等デイサービスだけでなく、居宅介護、相談支援、調剤薬局などの拠点として活躍してくれました。特にくれよんを利用されている子供たちとそのご家族が直接通われた事業所であったので、利用者はもちろんのこと私たち支援者にとっても思い出に残る建物と感じています。

この建物で仕事をする事はなくなりましたが、しばらくは前を通る度に色んなこと

が思い出されると思います。2003年の立ち上げから現在に至るまでありがとうと伝えたいです。

事業所は移転しましたが、藍サポートネットワークが大切に行っていることは何も変わりません。今まで通り一人一人の気持ちに寄り添い、よりよい生活作りを支援してまいります。新しい事業所でも子ども達は変わることなく今日も大きな笑い声が部屋に響いていることでしょう。



みんなで作るコンサート



→ (ピアノ演奏スタート)

ひらのは月に一度、コンサートやお楽しみ会（ものまねショー）を開催しています。コンサートの形はいくつ

かあり、外部の方に来て頂いて演奏を聴くやり方と、職員がそれぞれ得意な楽器を演奏し、職員と利用者さんが一緒に演奏するコンサートを作る企画もあります。今回の記事で



(音楽に合わせて身体を動かされています。)

は利用者さん、職員によるコンサートの様子について紹介させていただきます。

普段、なかなか生の演奏を聴く機会がない中で、利用者さん含め、我々職員も音楽演奏を楽しむにしております。あらかじめ利用者さんになかま会活動でどの曲が良いか意見をだしてもらったり、職員が「この曲は好きだから頑張って演奏してみようかな

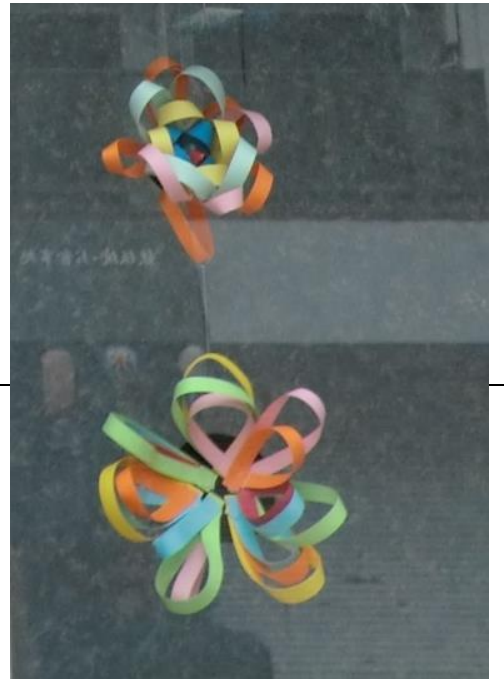
？」とみんなで楽しめるような音楽プログラムを考えています。今回、職員が担当する楽器はピアノとサククスに決まり、演奏担当者はコンサートに向けて練習を重ねていました。コンサート当日は、サククスを使ったイントロクイズをしたり、ピアノでは大人気アニメ鬼滅の刃のテーマ曲を演奏したりして盛り上がっていました。やはり生の楽器演奏

はCDとは音の質が違い、身体に感じる音の迫力に圧倒された利用者さんからは「すごいな」と感想がもれたり、知っている曲は鳴子や鈴などの楽器を振りながら歌ったりして楽しんでる様子が見られました。コンサート後は皆さん楽しそうな表情をしており「楽しかった」、「また、演奏してほしい」、「次はこの曲をしてほしい」等、感想だけでなく、次回の開催に向けてのリクエストが上がっていました。

今後もみなさんが楽しめるような活動を続けていきたいと考えています。

(サククスでイントロクイズ)





(花火をイメージした作品)

ディスプレイアートをぜひご覧ください。

※第二ひらの

生活介護ひらのがある建物には入口の両脇にショウウウインドウがあります。その一角に第二ひらのが授産活動で作っている祝箸や、ビーズ製品などを展示しているのですが、大きなショウウウインドウをもっとにぎやかに飾ろうと、利用者さんが取り組んでいる『ものづくり』活動で作成した四季折々の作品を展示することにしました。6月はジメジメする梅雨の時期なので

ショウウウインドウの前を通る方々が作品を目にして少しでも晴れやかな気持ちになってくれたらと思います、いろんな色の画用紙でカラフルな傘や、雨のしずくを作成しました。7月にはプリン容器をやすりで削りすりガラスのような技法を使いカラフルなペイントで涼しげな風鈴をたくさん作りました。8月には色鮮やかな打ち上げ花火をイメージし、細かい工程もありま

したが、きれいに飾り付けることができませんでした。9月はお月見をテーマにした内容になります。事業所の前を通る歩行者の方も時折足を止めて見てくださいています。事業所にこられた際はぜひお立ち寄りください。



小さな芽

第二ひらのの記事に登場したショウウウインドウですが、前の道が小学生の通学路になっていたりともあり、子ども達が立ち止まって展示物を見てることがあります。今は純粋に展示している物に

ついて子ども同士で話をしているだけですが、いつかは私たちがやっていることに興味を持ち、利用者さんと一緒に活動することができればと思います。そういった子ども達が成長して大人になった時、良き理解者となって障がい者の生活を支える存在になってもらいたいです。

ヘルパー日誌

先日、利用者さんの通院に同行しました。その日は少し大がかりな検査をする予定に

なっていて、検査の前から不安げな表情をみせる利用者さん。その様子をみていた私も同じように不安になり、二人でドキドキの緊張感を漂わせながら検査室で待っている。検査直前に私だけが検査室からだされてしまったので。検査が終わるまでは壁に耳を近づけ、中の様子をうかがっていました。周りの人からしたら変な人に見えていたと思います。検査は無事に終わり、ほっとした気持ちでうどんを食べて帰りました。

～新型コロナウイルス（報告）～

日頃より新型コロナウイルスの感染対策にご協力頂きありがとうございます。

当法人では、日頃より感染対策を実施してまいりましたが、全国で感染が増大する中、法人内でも7月下旬に複数の感染者が判明し、8/1から10日間の利用自粛をお願いせざるを得ない状況となりました。利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力のお陰で感染が大きく広がることもなく、お盆明けには通常利用の再開を果たすことができました。また、陽性になられた方も療養期間を無事に終え、日常生活を取り戻されています。

今後も感染対策へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

